

# 令和6年度 定時社員総会

日 時 令和6年6月5日（水）午後2時20分

場 所 サイプレスガーデンホテル  
名古屋市熱田区金山町一丁目9番8号  
Tel 052-679-1661 / Fax 052-679-1663

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会  
〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目2番4号  
アイディエリアビル 405  
Tel 052-321-3803 / Fax 052-684-4238



# 表 彰 式 次 第

- 1 開 式
- 2 愛知県知事表彰（計量関係功労者）
- 3 令和6年度正会員従業員表彰
- 4 令和6年度環境に関する喚起標語入選者表彰（特選受賞者）
- 5 受賞者代表謝辞
- 6 閉 式

愛知県知事表彰受賞者（計量関係功労者）

氏 名	所 属 事 業 所
波多野 群 樹	株式会社 愛研

（敬称略）

令和6年度正会員従業員表彰受賞者（10名）

氏 名	所 属 事 業 所
入 山 沙智代	株式会社 ユニケミー
奥 野 麻 紀	株式会社 イズミテック
梶 浦 郁 乃	株式会社 愛研
木 原 潤 一	一般財団法人 東海技術センター
小 出 智 恵	株式会社 ユニケミー
佐 藤 順 通	一般社団法人 愛知県薬剤師会
能 島 知 宏	株式会社 環境科学研究所
村 瀬 あゆ美	株式会社 三進製作所
山 内 陽 介	一般社団法人 愛知県薬剤師会
山 本 昂 平	株式会社 イズミテック

（敬称略：五十音順）

## 令和6年度環境に関する喚起標語入選者

「環境測定分析技術の向上」をテーマとして喚起標語を募集したところ、139作品の応募があった。

区分	標語	氏名 (敬称略)	所属
特選	こだわる心で極める技術 未来へつなぐ確かな品質	船橋 志保	(株)環境科学研究所
入選	試行とデータを積み重ね 知識とスキルで高めよう 測定技術	貝川 裕一	(株)環境科学研究所
入選	初心忘れず 日々努力 繋がる技術のステップアップ	小泉 有理沙	(一社)愛知県薬剤師会
入選	一つずつ 知識と経験積み重ね 技術向上 未来のために	小西 成実	(一財)東海技術センター
入選	知識と技術、日々の努力の積み重ね。	坂口 篤	(株)テクノ中部
入選	標準守って繋ぐ 管理の輪 人の和 技術の輪	高畑 絵美	(株)イズミテック
入選	確かな技術を継承し、知識を学び 更なる技術向上へ	平木 絢	サンエイ(株)環境事業部
入選	きっちり計測ししっかり分析 未来を守る技術の向上	二村 雅子	(株)アイシン・ ロジテクサービス
入選	素早く・正しく・安全に 日々の意識で技術向上	堀内 愛歩	中外テクノス(株)中部支社
入選	小さな”気づき”が精度に繋がる 高めよう品質意識	正木 浩貴	(株)愛研
入選	守ろう私たちの環境 高めよう私たちの分析技術	八木 政憲	(株)ユニケミー

(入選は、氏名(敬称略)の五十音順)

# 令和6年度 定時社員総会次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 議事録署名人の選出

5 議 事

(1) 第1号議案 令和5年度事業報告について

(2) 第2号議案 令和5年度収支決算について

(3) 第1号報告 令和6年度事業計画について

(4) 第2号報告 令和6年度収支予算について

6 その他

7 閉 会

8 特別講演

演題 「アンコンシャス・バイアスに対する認識と対策」  
～組織のダイバーシティと包括性を推進するために～

講師 名古屋学院大学

スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科 教授 青木 一起 氏

9 懇親会

## 第1号議案 令和5年度事業報告について

※「オンライン形式」など従来の「会場・対面形式」以外で開催した事業については、本文中にその旨（**オンライン形式**、**書面開催**等）を記載しました。

1 正会員数 63社（令和5年度末、年度当初は63社）

2 賛助会員数 19社（令和5年度末、年度当初は18社）

### 3 令和5年度定時社員総会

開催日・場所：令和5年5月29日（月）・サイプレスガーデンホテル

内 容：各種表彰式（計量関係功労者、正会員従業員、令和5年度環境喚起標語の特選受賞者、第6回写真コンテスト各部門の金賞受賞者）

令和4年度事業報告・収支決算の承認

令和5～6年度役員の選任

特別講演 古林功太郎氏（東京海上日動株式会社 マーケット戦略部）

『はじめてのGX』

### 4 理事会

開催日	議 題
第1回理事会 5.4.28（金） （Niterra日本特殊陶業 市民会館（以下「市民会 館」） 特別会議室）	1 正会員の退会 2 前回（令和4年度第5回）理事会以降の事業報告 3 各委員会の活動状況報告（景況調査結果を含む） 4 令和5年度定時社員総会 5 令和5年度行事予定 6 令和4年度事業報告（案） 7 令和4年度収支決算（案） 8 役員及び委員長の選出 9 委員会の統合に伴う委員会規程の一部改正 10 令和5年度「正会員従業員表彰」 11 第6回写真コンテストの審査結果
第2回理事会 5.5.29（月）	1 会長及び副会長の選定 2 賛助会員の入会 （総会終了後、サイプレスガーデンホテルで開催）
第3回理事会 5.7.12（水） （市民会館第2会議室）	1 第1回理事会以降の事業報告 2 令和5年度定時社員総会の結果について 3 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 4 第1回ブロック会議について 5 「日環協・環境セミナー全国大会 in ふじのくに」について

<p>第4回理事会 5.10.31(火) (市民会館第2会議室)</p>	<p>1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告(今後の活動計画も含む) 3 令和5年度第1回ブロック会議について 4 令和5年度収支決算(中間報告) 5 事務職員の労働条件の変更 6 日環協・環境セミナー全国大会 in ふじのくに 開催結果</p>
<p>第5回理事会 5.12.20(水) (市民会館特別会議室)</p>	<p>1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告(今後の活動計画も含む) 3 令和5年度特別企画セミナーについて 4 「もりの学び舎」における環境啓発活動への協賛について 5 「環境に関する喚起標語」の募集について</p>
<p>第6回理事会 6.3.15(金) (市民会館第2会議室)</p>	<p>1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告(今後の活動計画も含む) 3 令和6年度正会員従業員表彰及び表彰規程の一部改正 4 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案) 5 愛知県知事表彰(計量関係功労者・環境保全関係功労者) 6 「環境に関する喚起標語」の選考</p>

## 5 委員会活動……委員会名の後の( )内は開催回数

### (1) 総務委員会 (5回:うち4回は書面開催)

- ア 令和5年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。
- イ 令和5年度景況調査を実施した。
- ウ 令和6年度「環境に関する喚起標語」を募集して優秀作品を選定、理事会へ報告した。

### (2) 企画・広報委員会 (4回:うち1回は書面開催)

- ア 施設見学会(半田赤レンガ建物及び中埜酒造(株)酒の文化館)を企画・運営した。
- イ 社員総会後の特別講演、環境月間講演会の講師を選定するとともに、それらの開催時に協力した。
- ウ 会報誌「あいかんきょう」第155、156、157、158号を編集・発行した。
- エ 令和2年度から開始した「あいかんきょう」への広告チラシ封入サービスを継続した(利用は1社と愛知県)。
- オ 愛環協ホームページ(HP)をリニューアルするとともに、随時更新した。
- カ 第6回写真コンテストの優秀作品を選定し、理事会へ報告した。

### (3) 教育研修委員会 (5回:うち4回はオンライン形式)

- ア 環境測定分析新任者研修会、精度管理研修会①(基礎統計コース)、精度管理研修会②(中堅実務コース)、環境計量士等研修会及びSOP研修会を企画し開催した。
- イ アのうち、SOP研修会については「会場・対面形式」で、それ以外の研修会については「オンライン形式」で開催した。

(4) 技術委員会 (3回:全体会議後に各WGを開催)

- ア 第1回共同実験(水質)を実施し、結果検討会をハイブリッド開催した。
- イ 令和4年度第3回共同実験(振動)結果検討会及び大気・臭気WG勉強会を開催した。
- ウ ガスマーターの自主検査を2回実施した。

(5) 災害緊急時対応委員会 (2回)

- ア 協定を締結している愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市と、「大規模地震による災害を想定した河川水の環境調査の訓練」を11月に実施した。
- イ 愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習や、愛知県が開催する災害廃棄物処理に関する研修会に参加した。
- ウ 「災害時相互応援協定」を締結している7県単(福島、埼玉、神奈川、横浜市、愛知、大阪、堺市の協議会)による「意見交換会」(1月)に参加するとともに、首都圏環境計量協議会連絡会主催の「2022年度 環境計量証明事業団体合同研修会」(2月に東京で開催)に参加し、自治体との災害防止協定に関する活動内容等について意見交換を行った。
- エ 大阪環境測定分析事業者協会主催の環境問題特別講演会(11月)において、委員長が愛環協における自治体との災害協定の取組について講演した。

6 研修会等実施状況

研修会等の名称 (開催場所)	開催日 (参加者数)	演題及び講師(敬称略)
令和4年度第3回共同実験結果検討会 <b>オンライン形式</b>	5.5.30(金) (14名)	道路交通振動と地下鉄振動の測定(周波数分析)結果の解説後、参加者全員でディスカッションを実施
環境測定分析新任者研修会 <b>オンライン形式</b>	5.6.22(木) (27名)	1「環境計量の仕事とは」 (一財)東海技術センター 菊谷 彰 2「精度よい測定のために」 ③分析技術－機器分析－ ④検量線と標準物質 ⑤データの取扱 (株)環境科学研究所 牧原 大
	5.6.23(金) (27名)	2「精度よい測定のために」 ①サンプリングの基礎 ②分析技術－化学分析－ (株)テクノ中部 判治 寿高 3「労働安全衛生」 (株)大同分析リサーチ 新谷 良英
環境月間講演会 (市民会館第1会議室)	5.6.29(木) (32名)	1『生物多様性保全に関する愛知県の取組について～ネイチャーポジティブの達成

		に向けて～』 愛知県環境局環境政策部自然環境課 小川 敏幸 2 『社会貢献と言わない社会貢献～「プロギング」の紹介とその応用』 一般財団法人プロギングジャパン 常田 英一朗
精度管理研修会① 【基礎統計コース】 <b>オンライン形式</b>	5. 7. 28 (金) (17名)	1 「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 夏目 訓良 2 「検定」 (株)ユニケミー 今井 尚洋 3 「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会 小川 光寛
精度管理研修会② 【中堅実務コース】 <b>オンライン形式</b>	5. 9. 28 (木) (15名)	1 「環境法令について」 (一財)東海技術センター 菊谷 彰 2 「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 夏目 訓良 3 「不確かさの検出」 (株)環境科学研究所 牧原 大
	5. 9. 29 (金) (15名)	4 「「機器分析の精度管理」 (一財)東海技術センター 土屋 忍 5 「サンプリング及び環境分析における精度管理」 (一社)愛知県薬剤師会 小川 光寛 6 「相関分析・回帰分析」 愛知県立名古屋工科高等学校 井上 満
環境計量士等研修会 <b>オンライン形式</b>	5. 11. 17 (金) (41名)	1 「解体等工事の石綿飛散防止対策に係る大気汚染防止法の規制について」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 飯田 豊司 2 「有害な廃棄物を資源に変える新しい窒素循環システムに挑む」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 南 公隆

		<p>3 「JIS K 0102 の規格体系の見直しについて（第2回）－第2部及び第3部－」  (株)環境科学研究所 牧原 大</p> <p>4 「技術講演①（これまでの流れ分析の JIS 化と告示収録の経緯～流れ分析を計量証明事業で使用するためのアドバイス～  ビーエルテック(株) 熊澤 頼博</p> <p>5 「技術講演②（有害物質（カドミウム）を使用しない連続流れ分析法による硝酸及び全窒素分析手法の開発）」  ビーエルテック(株) 熊澤 頼博</p> <p>6 「製品紹介（流れ分析装置 CFA と ICP-MS とのコラボ！～希釈酸添加加熱分解前処理装置 AATM（アトム）と自動ろ過装置のご紹介～）」  ビーエルテック(株) 原 弘之</p>
第1回共同実験結果検討会 (市民会館第1会議室とオンラインのハイブリッド形式)	5.12.11 (月) (28名)	「模擬排水中のひ素及びセレンの分析」 (株)三進製作所 松田 健次
大気・臭気WG勉強会 (市民会館第1会議室)	6.1.26 (金) (12名)	「ポータブル排ガス分析計について」 機器の特徴等の説明 参加者による機器の自由操作 など
SOP（標準作業手順書）研修会 (市民会館第2会議室)	6.1.30 (火) (18名)	1 「SOPとは」 2 SOPのグループ作成演習 3 作成したSOPのグループ発表 (株)ユニケミー 池田 寛
特別企画セミナー (愛知県産業労働センター (ウインクあいち))	6.3.26 (火) (39名)	【第1部】「PFAS課題と分析アプリケーションについて」 アジレント・テクノロジー(株) 城代 航 (株)島津製作所 坂井 健朗 【第2部】「JIS K 0102 の規格体系の見直しの現状について」 (株)環境科学研究所 牧原 大 【第3部】「能登半島地震における被災地訪問について」

		(一社) 日本環境測定分析協会中部支部 大野 哲
--	--	-----------------------------

## 7 広報活動

(1) 環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主 な 記 事
155	5. 4. 20	災害時相互応援協定締結団体 福島被災地視察記 委員会活動報告 「環境計量士等研修会」受講報告 「SOP研修会」受講報告 「景況調査」結果報告 環境・時の話題「クリックケミストリー」 喚起標語 入選作品紹介 事務局からのお知らせ
156	5. 7. 20	定時社員総会報告 当協会の組織改編 新理事紹介 委員会活動報告 賛助会員紹介 事務局からのお知らせ
157	5. 10. 20	委員会活動報告 新賛助会員紹介 「環境月間講演会」開催報告 「環境測定分析新任者研修会」受講報告 「精度管理研修会①（基礎統計コース）」受講報告 時の話題「PFAS」 事務局からのお知らせ
158	6. 1. 1	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 大規模地震災害を想定した河川水環境調査訓練 「精度管理研修会②（中堅実務コース）」受講報告 「施設見学会」開催報告 「環境計量士等研修会」受講報告 事務局からのお知らせ

### (3) 情報提供

環境測定分析に関して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員 28 社に随時送付した。

## 8 共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

令和 4 年度に実施した振動関係の共同実験結果検討会を 5 月に開催した。

	内 容	実 施 日	参加社数	うち県外
第 1 回共同実験 (水 質)	模擬排水中のひ素及びセレンの分析	5. 7. 11(火)	42社 (43口)	12社 (13口)
	結果検討会 <b>ハイブリッド形式</b>	5. 12. 11(火)	28名	7名
令和 4 年度 第 3 回共同実験 (振 動)	道路交通振動と地下鉄振動の測定（周波数分析）及び解析	令和 5 年 2 月 8・9 日に実施 19名（うち県外 9名）が参加		
	結果検討会 <b>オンライン形式</b>	5. 5. 30(火)	14 名	7名

## 9 環境相談窓口の設置

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

### 10 関係行政機関への協力

- (1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震による災害を想定した河川水の環境調査の訓練（11月2日）に参加した。
- (2) 愛知県がNPO法人「もりの学舎自然学校」との協働により、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で実施している「自然体験プログラム」（ゴールデンウィーク特別企画）に協賛した（5月6日）。
- (3) 令和5年5月28日に愛知県立愛知総合工科高校で開催された「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会を後援するとともに、分析試料の提供及び表彰に協力した。

### 11 測定済証紙の斡旋

令和5年度には、次のとおり計 766 枚を斡旋した。

水 質	132 枚
排ガス	602 枚
騒 音	32 枚
計	766 枚

## 1.2 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により2回実施し、計33台の検査を実施した。

第1回	令和5年6月26日(月)～7月14日(金)	受検台数	20台
第2回	令和6年1月22日(月)～2月9日(金)	受検台数	13台
		計	33台

## 1.3 愛知県知事表彰

計量関係功労者として、池田寛氏((株)ユニケミー)及び小川光寛氏((一社)愛知県薬剤師会)が、令和5年度定時社員総会において表彰された(環境保全関係功労者は、該当者なし)。

## 1.4 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員9名を、令和5年度定時社員総会において表彰した。

受賞者(氏名の五十音順、敬称略)

氏名	所属事業所
畦元由理子	一般財団法人東海技術センター
池田賢治	株式会社大同分析リサーチ
刑部薫子	株式会社ユニケミー
木村成宏	株式会社環境公害センター
黒太茂	一般社団法人愛知県薬剤師会
小林央知	株式会社愛研
多田香	一般社団法人愛知県薬剤師会
早野健作	株式会社イズミテック
真野佳典	株式会社環境科学研究所

## 1.5 令和6年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

「環境測定分析技術の向上」をテーマに喚起標語を募集したところ、16社から139作品の応募があり、この中から特選1作品及び入選10作品を選出した(入選者及び作品一覧は表彰式関係のページに掲載)。

特選作品については、令和6年度の愛環協喚起標語として会員事業所に配布するポスターを作成した。

## 1.6 ブロック会議

理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図るとともに、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取するため、4つのブロックごとに年2回開催している。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度第1回(一部のブロックは元年度第2

回) 会議以降、対面形式での開催ができない状態が続いていたが、令和5年5月に感染症法上の位置づけが5類に変更されたことから、5年度は対面形式で開催することとした。

第1回会議を令和5年9～10月に、第2回会議を令和6年2月に各ブロックで開催し、多くの出席者のもと、活発な意見交換や近況報告が行われた。

## 1.7 関係団体活動

### (1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

ア 共同実験（1回：8参照）

イ 各種研修会（6参照）

### (2) 石川県環境計量協会

同協会主催の「環境計量技術研修会」には例年、技術委員を講師として派遣しているが、令和5年度は研修会自体が中止されたため、愛環協としての対応は無かった。

### (3) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

### (4) 中部環境計量士会と連携・協調した。

## 第2号議案 令和5年度収支決算について

### 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
普通預金	3,769,847	3,673,973	95,874
振替口座預金			0
定期預金	963,000	953,000	10,000
未収金	3,000	0	3,000
流動資産合計	4,735,847	4,626,973	108,874
<b>2. 固定資産</b>			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	4,847,847	4,738,973	108,874
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	810,000	0	810,000
預り金	57,631	13,941	43,690
前受金	0	0	0
流動負債計	867,631	13,941	853,690
<b>2. 固定負債</b>			
退職給与引当金	153,000	953,000	△ 800,000
固定負債計	153,000	953,000	△ 800,000
負債合計	1,020,631	966,941	53,690
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産			
正味財産合計	3,827,216	3,772,032	55,184
負債及び正味財産合計	4,847,847	4,738,973	108,874

## 正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
<b>I 一般正味財産の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,560,000	7,680,000	△ 120,000
受入会費(賛助会員)	1,000,000	900,000	100,000
③ 事業収益			
研修会等収入	1,062,000	702,000	360,000
クロスチェック参加料	803,000	1,056,000	△ 253,000
ガスメーター自主検査料	363,000	418,000	△ 55,000
その他の事業収入	403,860	392,380	11,480
日環協中部支部委託事業収入	960,833	582,000	378,833
雑収入	250,067	250,067	0
経常収益計	12,402,760	11,980,447	422,313
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	137,073	126,600	10,473
研修会等費	1,182,594	1,156,324	26,270
クロスチェック費	198,418	258,735	△ 60,317
ガスメーター自主検査費	363,000	418,000	△ 55,000
広報活動費	1,682,704	1,524,265	158,439
ブロック活動費	282,408	0	282,408
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金		0	0
環境相談事業費		0	0
その他の事業費	83,182	53,592	29,590

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,003,113	1,032,593	△ 29,480
事務所賃貸料	2,080,716	2,080,716	0
水道光熱費	895,609	890,173	5,436
通信運搬費	118,150	122,775	△ 4,625
旅費交通費	48,570	18,100	30,470
印刷費	48,070	38,170	9,900
消耗品費	53,059	44,634	8,425
総会費	445,343	374,399	70,944
その他会議費	89,856	73,602	16,254
事務機リース料	198,534	125,024	73,510
租税公課	81,600	71,002	10,598
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	50,577	47,982	2,595
経常費用計	12,347,576	11,761,686	585,890
当期経常増減額	55,184	218,761	△ 163,577
<b>2. 経常外増減の部</b>			
経常外収益	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	0	0	0
経常外費用	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
<b>当期一般正味財産</b>	55,184	218,761	△ 163,577
一般正味財産期首残高	3,772,032	3,553,271	218,761
<b>II 正味財産期末残高</b>	3,827,216	3,772,032	55,184

# 監 査 報 告 書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会  
会 長 大 野 哲 様

私たちは、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和6年4月8日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

監 事 柴 田 金 作 

監 事 金 田 哲 夫 

# 第1号報告 令和6年度事業計画について

## 1 研修の開催

特記したものを除き、原則として「対面形式による開催」を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の状況等によっては「オンライン形式による開催」に切り替えたり、「中止」する可能性もある。また、開催日はすべて「予定」であり、今後変更する可能性もある。

### (1) 環境分析技術、法令等講習会の開催

計量法改正等の説明会を開催する。

開催時期

必要に応じ随時

### (2) 環境測定分析技術者研修会の開催

ア 新任者研修会（日環協中部支部より受託：オンライン形式）

開催時期

令和6年6月13・14日

イ 精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

開催時期

令和6年7月26日

ウ 精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託：オンライン形式）

開催時期

令和6年9月19・20日

エ SOP（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和7年1月31日

オ 騒音・振動分野の勉強会

開催時期

令和6年7月1日

### (3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

環境計量士等を対象として、環境問題に対する認識を深め、新しい分析技術を習得する。

開催時期

令和6年11月29日

### (4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和7年3月（詳細未定）

## 2 広報活動

### (1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

### (2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

年4回

協会事業等を会員及び関係者に広報する。

発送時に広告チラシを同封するサービスを実施する。

### (3) 情報提供

環境測定分析関係情報を、インターネット等を通じ提供する。

### (4) 「愛環協サポーターズ メールマガジン」の運営 不定期

### (5) 環境関連事項についての調査

### (6) 環境月間講演会の開催

令和6年6月28日（予定）

- 3 共同実験（クロスチェック）の実施** 3回  
 分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。  
 また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。
- |     |              |             |
|-----|--------------|-------------|
| 第1回 | 水質関係の測定分析    | 令和6年8月（予定）  |
| 第2回 | 大気・臭気関係の測定分析 | 令和6年11月（予定） |
| 第3回 | 騒音・振動分野の測定分析 | 令和7年2月（予定）  |
- 4 レクリエーション行事の実施**  
 会員相互の親睦を深めるとともに、健康増進に資するため、フットサル大会を実施する（今後は、施設見学会とレクリエーション行事を隔年で実施する予定）。
- 5 環境相談窓口**  
 県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。
- 6 関係行政機関行事への協力**
- (1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。
  - (2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力して「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業（5月6日に開催）に協賛する。
  - (3) 「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会（5月26日に開催）に協力（試料調製、表彰状作成）する。
- 7 測定済証の発行**  
 定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。
- 8 ガスメーター自主検査事業の実施** 2回
- 9 愛環協ホームページの運営** 随時更新
- 10 計量証明書「承認様式」の認証** 随時
- 11 正会員従業員表彰**  
 環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員を表彰する。
- 12 喚起標語の募集と表彰** 令和6年12月（募集）  
 環境計量に関する喚起標語を募集し、優秀作品は定時社員総会において表彰する。
- 13 写真コンテストの実施と表彰** 令和6年7月（募集）  
 写真コンテストを実施し、優秀作品は定時社員総会において表彰する。

#### 1 4 景況調査の実施

令和7年2月

正会員に対して景況調査を実施する。

#### 1 5 ブロック会議の開催

2回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロック毎又は合同で会議を開催する。

#### 1 6 関係団体との連携協調

- (1) (一社)日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するなど、連携協調を図る。
- (2) 「災害時相互支援協定」を締結している7県単※の意見交換会に参加する(11月29日、群馬県内で開催予定)。  
※ (一社)福島県環境測定・放射能計測協会、(一社)埼玉県環境計量協議会、(一社)神奈川県環境計量協議会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会、堺市環境計量協議会及び(一社)愛知県環境測定分析協会
- (3) (一社)愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

## 第2号報告 令和6年度収支予算について

### 令和6年度収支予算

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和6年度予算 (a)	令和5年度予算 (b)	差 異 (a-b)
<b>I 一般正味財産の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,560,000	7,560,000	0
受取会費(賛助会員)	950,000	950,000	0
③ 事業収益			
研修会等収入	1,000,000	800,000	200,000
クロスチェック参加料	850,000	900,000	△ 50,000
ガスメーター自主検査料	374,000	440,000	△ 66,000
その他の事業収入	400,000	400,000	0
日環協中部支部委託事業収入	600,000	600,000	0
雑収入	250,000	250,000	0
経常収益 計 A	11,984,000	11,900,000	84,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	200,000	250,000	△ 50,000
研修会等費	900,000	900,000	0
クロスチェック費	220,000	220,000	0
ガスメーター自主検査費	374,000	440,000	△ 66,000
広報活動費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
ブロック活動費	315,000	315,000	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
環境相談事業費	0	5,000	△ 5,000
その他の事業費	60,000	90,000	△ 30,000
事業費 計 B	3,524,000	3,775,000	△ 251,000

単位:円

科 目	令和6年度予算 (a)	令和5年度予算 (b)	差 異 (a-b)
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,050,000	1,050,000	0
事務所賃貸料	2,090,000	2,090,000	0
水道光熱費	900,000	900,000	0
通信運搬費	130,000	130,000	0
旅費交通費	50,000	60,000	△ 10,000
印刷費	50,000	60,000	△ 10,000
消耗品費	50,000	40,000	10,000
総会費	480,000	380,000	100,000
その他会議費	90,000	70,000	20,000
事務機リース料	200,000	200,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	50,000	50,000	0
-----	-----	-----	-----
一般管理費 計 C	8,460,000	8,350,000	110,000
経常費用計 D=B+C	11,984,000	12,125,000	△ 141,000
当期経常増減額 E=A-D	0	△ 225,000	225,000
<b>2. 経常外増減の部</b>			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計 F	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予 備 費	0	0	0
経常外費用計 G	0	0	0
当期経常外増減額 H=F-G	0	0	0
当期一般正味財産 I=E+H	0	△ 225,000	225,000
一般正味財産期首残高 J	3,827,216	3,772,032	55,184
<b>II 正味財産期末残高 I+J</b>	<b>3,827,216</b>	<b>3,547,032</b>	<b>280,184</b>

科目間の流用を認める